

Nice Town Good People

 中央区 第26号

こんにちは 町会です



月島四之部西
町会



新川二丁目霊一
町会



東日本橋三丁目
町会



【お問い合わせ先】

◎京橋地域
区民部地域振興課
電話:03-3546-5337

◎日本橋地域
日本橋特別出張所
電話:03-3666-4251

◎月島地域
月島特別出張所
電話:03-3531-1151

町会・自治会活動に参加して 世代を超えたふれあいを!

わがまち中央区の人口は、平成九年の最少時の二倍以上に増え、今後も人口の増加が予想されます。

まちのにぎわいが増す中で、あらゆる世代の方たちが、安全・安心に暮らし続けていくためには、地域の人々同士の相互理解や信頼関係の構築が何よりも大切となります。

地域の中で、その中心的役割を担っているのが町会や自治会です。

町会・自治会は、地域コミュニティの核として、防災・防犯活動や高齢者への声かけなど、日々の暮らしに密着した活動を幅広く行っています。

特に、防災活動については、防災訓練の実施や災害用備蓄品の点検・充実を図るなど、安全で安心なまちづくりにもちぎるみで取り組んでいます。

この「こんにちは町会です」は、主に町会・自治会に未加入の方に、町会・自治会のさまざまな活動を知っていただくことで、加入・参加のきっかけになることを目的としています。

さあ、あなたも地域コミュニティへの参加に向けて第一歩を踏み出しませんか。素敵なまちづくりと一緒に取り組みましょう!

橋
地域

「義理人情を大切に」 婦人部を要に新旧住民が団結

新川二丁目霊一町会会長 鈴木勝一 さん



亀島川に二方を囲まれた新川二丁目周辺は、江戸時代(寛永元年)に靈巖寺が建立されたことから「霊岸島」とも呼ばれています。

新川二丁目霊一町会は昭和四十六年の住所表示変更後も、霊岸島という名を冠した町会として、下町の絆を大事にしながら活動しています。

平成三年以降のバブル崩壊で、商店の閉店、住民の転居が相次ぎ町会も様変わりしましたが、最近では新築マンションが増えたことで子どもがいる若い世帯が増えているとのこと。鈴木会長は「マンションは特別会員扱いですが、居住者の皆さんも積極的に町会イベントに参加してくれればと思っています。町会としても新旧住民のつながりを大切にしながら、連携を強くしていきたい。」と話しています。

百五十六世帯の生活を 守る備蓄品

その言葉通り、同町会の活動は富岡八幡宮例大祭や新川地区全体で行う「京橋八の部連合町会」主催のお花見大会や盆踊り、防災訓練などに加え、一月の新年餅つき大会、七月のバスハイク、八月を除き毎月実施して

いる町会清掃、年末の町内夜警など活発に行事を開催しています。

さらに平成十七年春に霊岸島防災センター(町会会館)が完成したことを機に、防災対策に力を入れていることも特徴です。この町会に住む百五十六世帯のために、飲料水や白飯、ビスケットなどの非常食だけでなく、医薬品や子ども用おむつ、婦人用品、トイレトペーパー、毛布、給水袋、レスキューセットなどの防災用品、用具を準備。AED(自動体外式除細動器)は町内コンビニエンスストアに配置、ヘルメットも各世帯2つずつ配布しました。また飲料水・食料品については五年間保存できる物を選び、4年目に更新するとともに、各世帯に配布し家庭備蓄品として活用してもらっています。

また町会会館は、町会員であれば無料で使用でき、マンションの会議、趣味の集まりなどに利用されています。

「平成二十三年の東日本大震災のときにはここを開放し、ラジオ放送で情報を流し、活動拠点の軸として活用するなど、センターができたことで町会全体の防災意識が非常に高まりました。特に婦人部が細かい部

分に気づいてくれるので、ニーズに応じた備蓄品調達や連絡体制が構築できています。」と鈴木会長。婦人部は平成二十五年五月に二十周年の記念式典を行い、霊一町会の諸行事の要として運営に寄与しています。

義理人情が残る町会が自慢

結束力が強い霊一町会。そのベースとなっているのは、「義理人情が残っている地域だから。」と婦人部メンバーは話します。「マンションが増え住民は増えている一方、町会活動への参加が増えない点が悩みですが、思いやりの精神で町会活動を理解してもらい、無理のない範囲で参加してもらえたら。」と語る鈴木会長は、今後も若手・ベテラン会員が団結しながら、町会活動を盛り上げていく方針です。



町会・自治会の情報サイト「中央区町会・自治会ネット」をご利用ください

中央区では、町会・自治会への新規会員の加入促進および町会・自治会同士の情報交換等の連携支援を目的とした「中央区町会・自治会ネット」を開設しています。

このホームページでは、町会・自治会に関する情報について、団体検索や情報検索機能により、①各町会・自治会のプロフィール、②イベント案内、③活動報告、④名所名店情報、⑤加入のご案内などが閲覧できます。

そのほかにも町会・自治会同士の連絡手段としての掲示板(会員のみ利用可能)や、地域に密着した行政情報などを掲載しています。

まちの魅力を共有する一手段として、「中央区町会・自治会ネット」を積極的にご活用ください。

中央区のホームページからも
リンクがありますので、ご利用ください

中央区 町会・自治会ネット

検索

お問い合わせ先

区民部地域振興課自治振興係
03-3546-5337

日本橋
地域

企業・店舗に支えられた、 バランス良い町会目指す

東日本橋三丁目町会会長 戸田昌男ただまさおさん



東日本橋三丁目、旧橋町の由来は天和三年までさかのぼり、元禄七年には江戸の間屋が集まり「江戸十組問屋」が組織された由緒ある町として三百年以上の歴史を持っています。会長の戸田昌男さんは、町会の

特徴を「その歴史とともに、現在の町会も店舗や企業、住民がバランスよく共存していることです。」と話しています。現在の町会員数三百五十五人のうち個人会員は百五十人、近年増えたマンションは団体会員として十三件、オフィスビル団体会員一件で、残りは店舗や企業などが占めているとのこと。

年々参加者が増える 餅つき大会

町会活動は、隔年開催の「神田明神例大祭」や「大江戸まつり盆おどり大会」、交通安全運動や東京マラソンの協力などに加え、主催行事として秋のレクリエーションや玉尾稻荷神社の初午祭、餅つき大会などがあります。レクリエーションは都内近郊へのバス旅行や高齢者クラブ「たちばな会」と公益社団法人日本橋法人会「東日本橋3丁目支部」と合同で開催

する新年会での落語会、水上バスを使った「日本橋再発見ツアー」なども行っています。

特に人気があるのは、十一月に開催する四十年以上続く町会伝統行事「恒例餅つき大会」です。既存の町会員やマンション会員も一緒になって準備し、餅をつくことによって会員同士の交流が深まる有意義な行事として、「大江戸まつり盆おどり大会」に次ぐビッグイベントとなっています。年々参加者が増加し、今では総勢二百人と「餅を丸める作業が大変なくらい」と戸田会長は笑います。

また同じ地域で活動する社会奉仕団体と協賛して取り組む、年一回の献血協力も息の長い活動の一つです。中央区内で献血活動を行っている町会が少ないことから、今後も細く長く継続していく予定です。

イベントが町をつなぐ。 若手の意見反映したい

目下の課題は世代交代による中間層不足です。少子高齢化や店じまいなど、地元で長く商売をしていた代々メンバーが町会役員を離れてしまい、「役員の手が不足しています。町

会内のマンション居住者も比較的高齢者が多いため、若手と高齢者をつなぐ五、六十代が少ないことが課題です。」と戸田会長は心配しています。

ただ最近ではマンション居住者で個人会員になる人も増え、イベント活動だけでなく役員業務にも積極的に参加してくれるようになってきているようで、「イベントを重ねることに町のまとまりを実感します。町会の皆さんが興味を持ち参加しやすいイベントを開催し、コミュニケーションを密に図っていききたいです。」と語る戸田会長は、歴史ある町会の発展を目指し、若手の意見を多く取り入れた町会運営に取り組む姿勢です。



神田明神例大祭の様子

～中央区の企業の皆様へ～ 町会では法人企業会員の方も募集しています

町会は、日頃から地域の活性化に加え、行政と連携した防災・防犯活動など安全で安心して暮らせるまちづくりにも取り組んでいただいています。

法人企業においても、いざという時のために日ごろから町会との連携を深め、協力体制を築いておくことが大切です。また、盆踊りや餅つきなど、町会主催のさまざまなイベントに参加することで、日中の多くの時間を過ごす地域の方とのコミュニケーションが図れます。さらに、町会に加入すると、区の商工業融資を利用した場合、借受人負担利率を優遇する制度もご利用いただけます。

ぜひ、この機会に町会への加入をご検討ください。皆さんの事業所がどこの町会エリアかなど、町会に関する詳しい情報は、2面記載の「町会・自治会ネット」でもご覧いただけます。



月島
地域

緩やかな時間の流れの中、 新旧住民が融合し町づくり

月島四之部西町会会長 山崎修さん



隅田川の東、西仲通り商店街を中ほどまで進んだエリアに位置する月島四之部西町会は、隣近所で声を掛け合う下町情緒が残る一方、近年は新築マンションが増え若手ファミリー層の住民が増えている地域です。会長の山崎修さんは、「今年創立六十三周年を迎えた町会で、古い町並みと新築マンションが混在し、ゆつたりとした時間の中で変化をしています。その流れの中で既存・新規の住民が仲良く、町のために活動していただくということが、町会の大きな趣旨になっています。」と話しています。町会内のマンション数は二十棟あり、近年も新築二棟が完成したことで、住民が急速に増加しました。町会では関係組合などと相談し、これらマンションの全世帯に町会に参加してもらっています。

そこで新旧住民のつながりを密接にしようとして、新成人・小学校入学・敬老の日のお祝い品贈呈や、日帰りバス旅行、防災訓練、歳末防犯・防災パトロールなど、一月から十二月まで、ほぼ毎月町会活動を行っています。中でも夏の日帰りバス旅行は、親子で参加できるイベントとして毎年八

十人の定員を超える応募が集まるそうです。

伝統行事に一千人が参加

一方、五十年以上前から大切に受け継がれている行事が、七月の「無縁仏様御供養」です。これは月島三丁目にあるわたし児童遊園に祠堂を置き無縁仏を供養するお盆行事で、町会員だけでなく周辺町会からも訪れるため、毎年一千人以上が参加しています。終了後には皆さんからの浄財を中央区社会福祉協議会に寄付し、金額も含め「中央区町会・自治会ネットワーク」に活動報告を掲載。地域貢献活動についても情報共有に努めています。

また九月の敬老の日には、町会に住んでいる七十歳以上の人を一人ずつ訪ね、お祝い品を配布しています。このような若い世帯から高齢者まで網羅する行事が織り交ぜられていることも、世代間の交流が深まることにつながっています。

時代の流れに合わせ、 若手と一緒に町づくりを

同町会の特徴は、一千二百人とい

う町会員規模の大きさです。既存居住者は六十代、新築マンションの居住者は小さな子どもがいる若いファミリー層が中心で、「新たなマンション建築計画もあるので、若手ファミリー層の流入は今後も続くでしょう。」と山崎会長は感じています。マンション理事長の任期は1年と短く、また日中は勤務で忙しいため、町会役員を務めるのは難しいですが、それでも町会活動に積極的に参加しています。「時代とともに町会も変わるもの。町会の活動は若手と一緒に、町づくりのために進めていきたい。今のところ希望通りになっているので、このまま維持していきたいですね。」と語る山崎会長は、これからも積極的にマンション居住者を取り込むような活動に取り組み、町会としての一体感を生み出していくつもりです。



写真左から/岡山幸司さん、宮田泰子さん、平山和正さん

コミュニティふれあい銭湯

中央区では、コミュニティふれあい銭湯として毎月第2・第4金曜日は一人100円（敬老入浴証持参者および小学生以下は無料）で入浴をお楽しみいただけます。みなさんのご利用をお待ちしております。

- 時間 各浴場営業時間
- 場所 中央区内公衆浴場（銭湯）
- 対象者 中央区内在住・在勤者
- 入浴料金 一人100円 ※ただし、敬老入浴証持参者および小学生以下は無料



お問い合わせ先

区民部地域振興課区民施設係
03-3546-5623